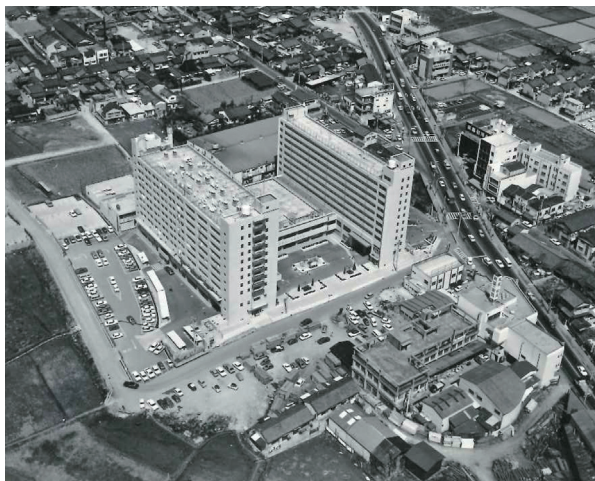




昭和 48 年当時の山科団地

山科団地／京都市山科区

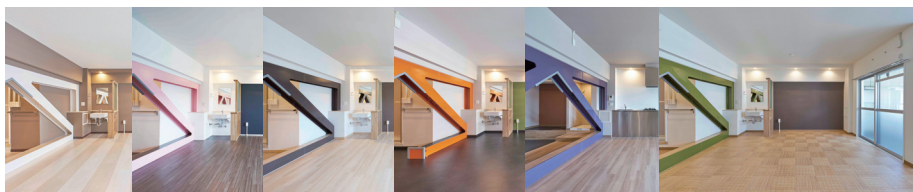
山科団地の西棟では、昨年 5 月から耐震改修工事を行いました。「外付けフレーム＋一部住戸鉄骨補強材設置」という工法により、一部の住宅では居室内部の玄関側に鉄骨補強材（鉄骨ブレース）を設置しました。

従来であれば、隣接住戸と 2 戸 1 改造を行ったり、別の住宅用途に転換したりするところですが、山科団地では鉄骨ブレースを生かし、斬新なデザインによるリノベーションを行って、「耐震ブレース付きリノベーション住戸」として 9 月から供給を開始しました。

玄関から居室に行くために“しゃがんで鉄骨をまたぐ”という常識を覆した住戸ですが、若者单身層をターゲットに設備などを徹底的に充実させ、住戸ごとにブレースの色や壁紙、床材をそれぞれ変更して、14 戸、14 パターンのカラーバリエーションを実現。全てコンセプトが異なる部屋に仕上げました。

〈団地概要〉

所在地：京都市山科区柳辻池尻町 14 番地の 18
 管理開始：昭和 47 年
 管理戸数：256 戸
 構造：鉄筋コンクリート造 10 階



鉄骨ブレースをうまく生かした住戸デザイン。カラフルに塗装したブレースや団地のイメージを覆すような壁紙、床材で若い世代にアピール



スタイリッシュなアルミ製キッチンや洗濯機置き場を新設



現在の山科団地